

都市再生整備計画 事後評価方法書

勝瀬・ふじみ野地区

令和 2 年 4 月

埼玉県富士見市

(このページは、提出の際には添付する必要はありません。)

目 次

(1) 成果の評価.....	2
1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況.....	2
2) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測.....	3
(2) 実施過程の評価.....	4
1) モニタリングの実施状況の確認.....	4
2) 住民参加プロセスの実施状況の確認.....	4
3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認.....	4
(3) 効果発現要因の整理.....	5
(4) 今後のまちづくり方策の作成.....	5
(5) 事後評価原案等の公表.....	5
(6) まちづくり交付金評価委員会の審議.....	5
(7) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定.....	5
(8) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況.....	5

※ 記入にあたっての留意事項

方法書提出様式の記入にあたっては、下記の点に留意してください。

1. 事後評価ならびにフォローアップの作業が円滑かつ確実に進められるよう、事後評価に関わる各評価項目の計測又は確認の時期、主体、手法等を具体的に記載してください。
2. 記入項目の詳細や記入例については「方法書作成の手引き」を参照してください。
3. 数値及び文章は、適宜、欄(枠)を拡張するなどして記入してください。

(1) 成果の評価**1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況****指標 1: 町会や地域活動への参加状況****A: 事前評価時の『従前値』の求め方**

①従前値の 基準時点	都市再生計画作成時（平成 24 年度時点）
②実施主体	政策企画課
③計測手法	層化無作為抽出法によるアンケート（郵送による市民意識調査）

B: 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方

④計測時期	平成 30 年度時点
⑤実施主体	政策企画課
⑥データの 計測手法	層化無作為抽出法によるアンケート（郵送による市民意識調査）
⑦評価値の 求め方	市民意識調査における設問「あなたは普段、町会や地域団体による防災訓練や清掃など地域活動に参加していますか」に対し、「だいたい参加している」「たまに参加している」と答えた住民の割合（勝瀬・ふじみ野地区）。

⑧確定／見 込みの別	<input checked="" type="radio"/>	確定	
	<input type="radio"/>	見込み	

C: フォローアップ時の『確定値』の求め方

⑨フォローアップ の必要性	<input type="radio"/>	あり	
	<input checked="" type="radio"/>	なし	
⑩計測時期			
⑪実施主体			
⑫計測手法			

指標 2: 市道 5101 号線道路利用台数**A: 事前評価時の『従前値』の求め方**

①従前値の 基準時点	都市再生整備計画作成時（平成 23 年度時点）
②実施主体	道路治水課
③計測手法	交通量調査

B: 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方

④計測時期	令和 2 年度時点
⑤実施主体	道路治水課
⑥データの 計測手法	交通量調査
⑦評価値の 求め方	市道 5101 号線を通過する 1 日あたりの車両台数を計測する。

⑧確定／見 込みの別	<input checked="" type="radio"/>	確定	
	<input type="radio"/>	見込み	

C: フォローアップ時の『確定値』の求め方

⑨フォローアップ の必要性	<input checked="" type="radio"/>	あり	
	<input type="radio"/>	なし	
⑩計測時期	市道 5101 号線の整備完了後		
⑪実施主体	道路治水課		
⑫計測手法	交通量調査		

(1) 成果の評価

2) その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測

数値指標：	定住意識について		
記述理由	地区の整備に伴う効果として定住意識の上昇が見られ、「安全で快適に住み続けられるまちづくり」の評価指標としてふさわしいと考えられる。		
A：事前評価時の『従前値』の求め方			
①従前値の基準時点	都市再生計画作成時（平成 24 年度時点）		
②実施主体	政策企画課		
③計測手法	層化無作為抽出法によるアンケート（郵送による市民意識調査）		
B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方			
④計測時期	平成 30 年度時点		
⑤実施主体	政策企画課		
⑥データの計測手法	層化無作為抽出法によるアンケート（郵送による市民意識調査）		
⑦評価値の求め方	市民意識調査における設問「あなたは、今後も富士見市に住み続けたいと思いますか」に対し、「ずっと住み続けたい」「当分の間は住み続けたい」と答えた住民の割合（勝瀬・ふじみ野地区）。		
⑧確定／見込みの別	●	確定	
		見込み	
C：フォローアップ時の『確定値』の求め方			
⑨フォローアップの必要性		あり	
	●	なし	
⑩計測時期			
⑪実施主体			
⑫計測手法			

(2) 実施過程の評価

1) モニタリングの実施状況の確認

A: 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

ア 都市再生整備計画に実施することを記載した

イ 都市再生整備計画に記載しなかった

ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

B: 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

なし

C: 事後評価時の確認方法

①時 期

②確 認 先

③確認方法

2) 住民参加プロセスの実施状況の確認

A: 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

ア 都市再生整備計画に実施することを記載した

イ 都市再生整備計画に記載しなかった

ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

B: 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

なし

C: 事後評価時の確認方法

①対 象

②時 期

③確 認 先

④確認方法

3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認

A: 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

ア 都市再生整備計画に実施することを記載した

イ 都市再生整備計画に記載しなかった

ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

B: 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

なし

C: 事後評価時の確認方法

①対 象

②時 期

③確 認 先

④確認方法

(3) 効果発現要因の整理

①時 期	令和2年8月～9月
②実施主体	政策企画課（都市再生整備計画事業主管課）
③検討体制	政策企画課が主管課となり、事業に関わる全ての課（政策企画課、ピアザ☆ふじみ、保育課、道路治水課、交通・管理課、まちづくり推進課、健康増進センター）による庁内の横断的な組織（庁内検討委員会）を設置し、検討会議を開催する。

(4) 今後のまちづくり方策の作成

①時 期	令和2年8月～9月
②実施主体	政策企画課（都市再生整備計画事業主管課）
③検討体制	前記の検討会議にて、ブレインストーミングにより整理する。また、随時電話やメール等で意見交換を行う。

(5) 事後評価原案等の公表

	原案の公表	評価結果(最終)の公表
①時 期	令和2年10月	令和3年3月
②実施主体	政策企画課	政策企画課
③公表方法	ホームページでの掲載により公表する予定である。公開期間は2週間程度とする。	ホームページでの掲載により公表する予定である。公開期間は無期限とする。

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

①時 期	令和2年11月
②実施主体	政策企画課
③設置・運用方法	都市計画審議会のメンバーに事後評価原案についてのご意見等をいただき、最終評価に反映する。

(7) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定

①聴取方法	
-------	--

※(3)～(6)の検討以外に市町村で任意に有識者から意見聴取を予定する場合に記入

(8) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況

①予算措置の状況	<input type="checkbox"/> ア 費用は発生しない <input checked="" type="checkbox"/> イ 費用は発生するが、予算措置を講じている <input type="checkbox"/> ウ 費用は発生するが、予算措置は講じていない <input type="checkbox"/> エ その他（ ）
----------	--

都道府県名	埼玉県
市町村名	富士見市
地区名	勝瀬・ふじみ野地区
計画期間	平成 26 年度～平成 30 年度
作成者	部署 総合政策部政策企画課
	役職 主任
	氏名 島根 優
連絡先	T E L 049-251-2711
	F A X 049-254-2000
	E-mail flg002@city.fujimi.lg.jp